

〔パリダマイシン・フェリムゾン・  
フサライド水和剤〕

農林水産省登録 第19023号  
性 状：類白色水和性粘稠懸濁液体  
毒 性：普通物  
危 険 物：—  
有効年限：500 ml・1 l：4年、5 l：2年  
包 装：500 ml×20、1 l×10、5 l×4

## ブラシンバリダ® ソル

有効成分：パリダマイシン A…………… 5.0% フェリムゾン……………20.0%  
フサライド…………… 15.0%

殺菌剤分類 U18,U14,16.1



「住友化学農業ガイド」の見方：i-農力サイトの「製品情報」、「農業ガイドを見る」から、「農業ガイドの見方」をご覧ください。  
本剤の最新情報：こちらのQRコードを読み取るとi-農力サイトに掲載されている本剤の最新情報をご覧いただけます。

### 〔適用と使用方法〕

| 作物名 | 適用病害名       | 希釈倍数 | 10アール当り<br>使用液量 | 使用時期* | 総使用回数*  | 使用方法                  |
|-----|-------------|------|-----------------|-------|---|-----------------------|
| 稲   | いもち病<br>紋枯病 | 30倍  | 3 l             | 14日前  | 本 剤：2回<br>パリダマイシン：6回<br>(#1)<br>フェリムゾン：2回<br>フサライド：3回 | 空中散布                  |
|     |             | 8倍   | 800 ml          |       |   | 無人ヘリコ<br>プターによる<br>散布 |

#1：育苗箱灌注は1回、本田では5回

### ⚠️ 効果・薬害等の注意

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきる。
- 本剤は長期間貯蔵しておくことと分離するので、使用の際は容器をよく振って均一な状態にもどしてから所定量を取り出す。
- 散布液調製後はそのまま放置せず、できるだけすみやかに散布する。
- 本剤は空中散布及び無人ヘリコプターによる散布に使用する。又、散布にあたっては次の注意を守る。
  - 各散布機種種の散布基準に従って実施する。
  - 無人ヘリコプターによる散布にあっては、散布機種に適合した散布装置を使用する。
  - 散布中、薬液が漏れないように機体の散布用配管その他散布装置の十分な点検を行う。
  - 散布薬液の飛散によって自動車やカラートタンの塗装等に影響を与えないよう、散布区域内の諸物件に十分留意する。
  - 作業終了後は次の事項を守る。
    - ・ 使用後の空の容器は放置せず安全な場所に廃棄する。
    - ・ 機体散布装置は十分洗浄し薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理する。
  - 水源池、飲料用水等に本剤が飛散流入しないように十分注意する。
- たばこ、けいとう及び幼植物のだいたず・あずき・いんげんまめには薬害を生ずるおそれがあるので、かからないように注意して散布する。
- きく（秀芳の力等）には薬害を生ずるおそれがあるので、かからないように注意して散布する。
- 本剤の使用にあたっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

### ⚠️ 安全使用上の注意

- 誤飲などのないよう注意する。

(2022年10月14日現在の内容) 住友化学の農業支援サイト:i 農力<https://www.i-nouryoku.com/>

- 眼に入らないように注意する。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける。  
(刺激性)
- 無人ヘリコプターによる散布の際は防護マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用する。  
作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換する。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯する。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意する。
- 直射日光をさけ、なるべく低温な場所に密封して保管する。

「[農業ガイドの見方](https://www.i-nouryoku.com/prod/search/) (https://www.i-nouryoku.com/prod/search/) [農業ガイドの見方.pdf](#)」の「3. 注意事項：(1)、(2)、(3)、(4) - D」も合わせてお読み下さい。

## 〔品目特性〕

- 本剤はいもち病・紋枯病同時防除剤として開発された空中散布専用剤で、バリダマイシンとの混合剤でいもち病・紋枯病同時防除剤です。有効成分「フェリムゾン」は他の殺菌剤とは全く異った作用機構を持ち、いもち病菌をはじめ穂枯れ性病原菌にも高い活性を示します。